

# 地理検ニュース



 **旅行地理検定協会**  
Travel Geography Testing Association

2019年9月（通算37号）

〔トピックス〕

## 旅行地理検定の改定（2020年6月より）

旅行地理検定協会 (<https://chirikentei.jp/>)  
〒105-0014 東京都港区芝3-23-1  
セレスティン芝三井ビルディング12階  
(株)JTB総合研究所内  
TEL : 03-6722-0756 FAX : 03-6722-0753

旅行地理検定は、旅先の知識を豊かにし、旅行をより充実したものにさせていただくことを目的に1995年より開始し、2019年12月には第50回を迎えることとなりました。これまで、多くの方々に旅行地理検定を受験していただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

第50回を迎えるに当たり、今後も旅行地理検定の安定的な運営を図るべく検定の実施方法について見直しを行い、第51回（2020年6月実施予定）より一部実施方法等の改定をさせていただくことになりました。今後とも、旅行地理検定の充実を図るべく努めてまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

以下でご案内する改定内容は、第51回（2020年6月実施）以降の実施内容になります。  
同封パンフレットの第50回（2019年12月1日実施）は、従来通り、国内／海外旅行地理検定1～4級による実施となりますので、ご注意ください。

## ∞∞∞∞∞∞∞∞∞ 旅行地理検定改定の概要（2020年6月実施回以降） ∞∞∞∞∞∞∞∞∞

### 1. 検定名称の変更

これまで日本人の旅行先の視点で「国内」「海外」と分類していましたが、近年は受験者の国籍も多様化していることから、出題エリアで分類した名称に変更いたします。

現行名称：国内旅行地理検定 → 新名称：日本・旅行地理検定（出題エリア：日本国内）  
現行名称：海外旅行地理検定 → 新名称：世界・旅行地理検定（出題エリア：日本を除く全世界）

### 2. 1級の廃止と階級の名称変更

現行の4階級の内「1級」を廃止し、3階級に変更するとともに、名称を「上級」「中級」「初級」とします。新旧の階級（問題の難易度）の対比は右記の通りです。

第50回以前に合格された級につきましては、引き続き有効です。なお、改定後の級への読み替えは行えませんので、予めご了承ください。第50回以前に受験された合格証の発行は1級～4級での表示となります。

#### 〔級の対比（日本／世界・旅行地理検定共通）〕

地理検定階級	(改訂) 地理検定階級
1級	
2級	上級
3級	中級
4級	初級

### 3. 会場及び Web 受験の再編

#### ①公開会場の再編

公開受験の会場は全国 5 か所（札幌・東京・名古屋・大阪・福岡）とします（仙台会場の廃止）。

#### ②Web 受験

Web 受験は「中級」「初級」限定で実施いたします。「上級」は会場受験のみとなります。

### 4. 設問数・試験時間

設問形式・構成を見直し、各級の設問数、試験時間を以下のとおりとします。

[級別の設問数・試験時間（日本／世界・旅行地理検定共通）]

級	設問数	試験時間
上級	100 問	60 分
中級	100 問	60 分
初級	80 問	60 分

※各級の出題内容（出題範囲等）は 2020 年 1 月下旬以降、ホームページにて公表予定です。

### 5. 受験料の改定

多くの方々に受験していただくため、これまで運営体制の効率化・合理化を図り、受験料の大きな改定を行うことなく運営してまいりました。しかし、近年の諸費用の高騰に伴い、安定的に検定の運営体制を確保していくことが難しい状況となっております。つきましては、誠に不本意ではございますが、以下のとおり受験料を改定させていただきます。

[級別の受験料（日本／世界・旅行地理検定及び会場／Web 受験共通）]

級	一般受験料（税込）
上級	¥5,000
中級	¥4,000
初級	¥3,000

※団体受験される場合は、別途団体受験価格を設定しております。

### 6. 旅行地理博士等の称号授与の再編

日本・世界別に、各回の「上級」の最高得点者を「旅行地理検定最高得点賞」として表彰いたします。

これまで実施してまいりました表彰制度は、第 50 回をもって終了させていただきます。なお、第 50 回にて「旅行地理名誉博士」となられた方、及び既に名誉博士の方の受験料の免除特典は、該当期間内は引き続き有効とさせていただきます。

上記の改定概要は、2019 年 8 月現在の内容をもとに作成しております。改定内容は、今後、変更させていただくこともありま

すので、予めご了承ください。  
また、通算 37 号となる「地理検ニュース」でございますが、本号をもちまして定期配信は終了させていただきます。今後は、適宜ホームページ等で情報を配信させていただきます。